



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月3日

上場会社名 文化シャッター株式会社  
 コード番号 5930 URL <http://www.bunka-s.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 潮崎 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日 2021年2月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	121,589	4.2	6,091	15.3	6,488	25.6	3,884	27.2
2020年3月期第3四半期	126,928	5.9	5,283	10.6	5,164	10.5	3,053	12.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,003百万円 (43.0%) 2020年3月期第3四半期 2,800百万円 (59.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	54.19	47.71
2020年3月期第3四半期	42.60	37.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	166,062	79,366	47.7
2020年3月期	165,874	77,157	46.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 79,193百万円 2020年3月期 76,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.50		12.50	25.00
2021年3月期		12.50			
2021年3月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,500	6.9	10,000	5.4	11,000	10.0	7,200	9.0	100.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2021年2月3日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	72,196,487 株	2020年3月期	72,196,487 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	503,494 株	2020年3月期	503,258 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	71,693,092 株	2020年3月期3Q	71,693,325 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響を受け、外出自粛及び休業要請等により企業活動や個人消費が停滞し、その後、2度目の緊急事態宣言の発出を受けて感染の収束は見通せず、景気回復の足取りは鈍く、極めて深刻な状況にあります。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、民間設備投資が減少傾向にあることに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、感染拡大防止に伴う受注活動の制限等の影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、121,589百万円(前年同四半期比4.2%減)となりましたが、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は6,091百万円(前年同四半期比15.3%増)、経常利益は6,488百万円(前年同四半期比25.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても3,884百万円(前年同四半期比27.2%増)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### 1. シャッター関連製品事業

大型物流倉庫及び大型商業施設向け重量シャッター等が低調に推移しました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は46,331百万円(前年同四半期比1.2%減)となりましたが、営業利益は4,996百万円(前年同四半期比12.6%増)となりました。

#### 2. 建材関連製品事業

オフィスビル及び大型商業施設向けのスチールドア等が堅調に推移した一方で、戸建て住宅・集合住宅向け建材関連製品等が低調に推移しました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50,100百万円(前年同四半期比5.4%減)となりましたが、営業利益は1,141百万円(前年同四半期は営業利益82百万円)となりました。

#### 3. サービス事業

緊急修理対応及び定期保守メンテナンス契約等が低調に推移しました結果、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,951百万円(前年同四半期比5.9%減)となり、営業利益は2,442百万円(前年同四半期比22.5%減)となりました。

#### 4. リフォーム事業

ストック市場への取り組みとして、ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅用リフォーム事業が低調に推移しました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,766百万円(前年同四半期比30.5%減)となり、営業損失は169百万円(前年同四半期は営業利益71百万円)となりました。

#### 5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨や集中豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業が堅調に推移しました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,439百万円(前年同四半期比22.3%増)となり、営業利益は547百万円(前年同四半期比53.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は166,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円増加しました。流動資産は96,283百万円となり、138百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金が減少(12,118百万円)した一方で、現金及び預金が増加(7,982百万円)、商品及び製品が増加(3,098百万円)、流動資産のその他が増加(804百万円)、原材料及び貯蔵品が増加(291百万円)したことが主な要因であります。固定資産は69,778百万円となり、49百万円増加しました。これは、のれんが減少(391百万円)、無形固定資産のその他が減少(385百万円)、建物及び構築物が減少(223百万円)した一方で、投資有価証券が増加(553百万円)、有形固定資産のその他が増加(513百万円)したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は86,696百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,020百万円減少しました。流動負債は52,387百万円となり、2,423百万円減少しました。これは、流動負債のその他が増加(3,649百万円)した一方で、支払手形及び買掛金が減少(4,250百万円)、賞与引当金が減少(1,689百万円)したことが主な要因であります。固定負債は34,308百万円となり、402百万円増加しました。これは、長期借入金が減少(184百万円)した一方で、固定負債のその他が増加(332百万円)、退職給付に係る負債が増加(251百万円)したことが主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は79,366百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,209百万円増加しました。これは、配当金の支払い(1,792百万円)、為替換算調整勘定の減少(642百万円)により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(3,884百万円)により増加したこと、その他有価証券評価差額金が増加(806百万円)したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗及び今後の見通しを勘案した結果、2020年11月4日に公表いたしました2021年3月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年2月3日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	25,727	33,709
受取手形及び売掛金	46,640	34,522
商品及び製品	14,350	17,448
仕掛品	1,000	1,059
原材料及び貯蔵品	4,335	4,627
その他	4,202	5,006
貸倒引当金	△111	△90
流動資産合計	96,144	96,283
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	11,069	10,846
土地	12,475	12,475
その他(純額)	9,399	9,912
有形固定資産合計	32,944	33,234
<b>無形固定資産</b>		
のれん	4,543	4,151
その他	5,410	5,024
無形固定資産合計	9,953	9,176
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	16,998	17,552
退職給付に係る資産	1,658	1,649
その他	8,516	8,480
貸倒引当金	△342	△314
投資その他の資産合計	26,830	27,368
固定資産合計	69,729	69,778
資産合計	165,874	166,062

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,703	29,452
短期借入金	2,284	2,812
未払法人税等	1,632	985
賞与引当金	3,416	1,726
役員賞与引当金	127	132
工事損失引当金	118	99
その他	13,528	17,178
流動負債合計	54,811	52,387
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	266	81
役員退職慰労引当金	357	358
退職給付に係る負債	19,023	19,275
資産除去債務	53	54
その他	4,205	4,537
固定負債合計	33,905	34,308
負債合計	88,717	86,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	12,304	12,304
利益剰余金	47,564	49,656
自己株式	△156	△157
株主資本合計	74,763	76,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,620	3,426
土地再評価差額金	△76	△76
為替換算調整勘定	△317	△959
退職給付に係る調整累計額	6	△52
その他の包括利益累計額合計	2,233	2,338
非支配株主持分	160	172
純資産合計	77,157	79,366
負債純資産合計	165,874	166,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	126,928	121,589
売上原価	93,219	88,525
売上総利益	33,708	33,064
販売費及び一般管理費	28,425	26,972
営業利益	5,283	6,091
営業外収益		
受取利息	17	14
受取配当金	297	288
受取賃貸料	62	58
為替差益	—	397
その他	155	193
営業外収益合計	533	952
営業外費用		
支払利息	127	154
持分法による投資損失	331	341
その他	192	59
営業外費用合計	652	555
経常利益	5,164	6,488
特別利益		
固定資産売却益	6	19
抱合せ株式消滅差益	126	—
課徴金返還額	—	63
受取保険金	—	20
特別利益合計	132	102
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	24	27
災害による損失	19	—
特別損失合計	52	27
税金等調整前四半期純利益	5,245	6,563
法人税等	2,175	2,665
四半期純利益	3,069	3,897
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,053	3,884



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,069	3,897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	362	747
為替換算調整勘定	△473	△556
退職給付に係る調整額	△167	△91
持分法適用会社に対する持分相当額	9	5
その他の包括利益合計	△268	105
四半期包括利益	2,800	4,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,785	3,990
非支配株主に係る四半期包括利益	15	12

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	46,905	52,952	18,019	5,420	123,298	3,629	126,928	—	126,928
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	3,513	25	490	18	4,048	153	4,201	△4,201	—
計	50,419	52,977	18,510	5,439	127,346	3,782	131,129	△4,201	126,928
セグメント 利益	4,437	82	3,151	71	7,742	356	8,099	△2,815	5,283

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,815百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,812百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、連結子会社であるBX BUNKA AUSTRALIA PTY LTDが新たにARCO(QLD)PTY LTDの株式を取得し、同社及びその子会社であるRETROTECH DOOR SERVICES PTY LTDを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては291百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	46,331	50,100	16,951	3,766	117,150	4,439	121,589	—	121,589
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	3,213	15	406	65	3,700	345	4,045	△4,045	—
計	49,545	50,115	17,357	3,832	120,850	4,784	125,635	△4,045	121,589
セグメント 利益又は損失 (△)	4,996	1,141	2,442	△169	8,410	547	8,958	△2,866	6,091

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,866百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,863百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。